

柔軟な対応で 税関の使命を遂行

名古屋税関長
ふじわら たけろう
藤原 健朗



一新 転機

昭和三十五年六月生まれ。東京都出身。五十九年四月、建設省(現：国土交通省)入省。平成六年、外務省在フランス日本国大使館一等書記官。十一年、建設省河川局水政課建設専門官などを経て、十八年、津市助役(副市長)。二十六年、独立行政法人都市再生機構審議役。二十八年六月、財務省名古屋税関長就任。

【名古屋の印象】平成十八年四月から二年間、津市副市長を務め、それが東海地区に初めての赴任でした。名古屋港の総取扱貨物量は日本一が続いており、自動車産業をはじめ、食品や紡績、機械など幅広く産業があり、モノづくりの存在感は大きいですね。

【災害対策とサミット】平成十一年七月、建設省河川局の法務担当の時、広島で土砂災害が発生しました。突然の土砂災害に備えるためには、事前に危険区域を定め開発などに規制をかけることのほか避難計画を策定することを規定する法律が必要となり、法案作成を担当しました。当時は、危険個所の公表は「地価低下を招く」と反対される時勢でした。最近は一ハザードマップなども定着しましたが、その先駆けだったと思います。もう一つは在フランス日本国大使館勤務だった時、リヨンでサミットが開催され、ロジ準備のため会期の三週間前から現地に張り付きました。日本からの会議出席者等は二四時間フル稼働となるため、それに応じて食事ができるよ

う宿舍のホテルでバイキングを提供するのですが、スタッフとメニューを決定したほかメニューの翻訳なども行いました。全くの畑違いでしたが、面白かったですね。

【相撲】幼稚園の時から相撲が好きで、「自分でまわしを締めてみないと」との義務感もあり大学では相撲部に所属し、学生相撲選手権大会にも出場。三年生の時に、団体戦Cクラスで優勝しました。

【人との出会いを大切に】好きな言葉は、一期一会です。一回一回の人との出会いを大切にし、誠実に接することを心がけています。

【税関長として】税関の三つの使命である「安全・安心な社会の実現」「適正かつ公平な関税等の徴収」「貿易円滑化の推進」を達成するため職員の能力をフルに引き出し、よい仕事ができるように環境を整えることが税関長としての私の役割だと思っています。また、別組織出身なので国民側からの見方もできると思っておりますので、最近の変化にも柔軟に対応できるように、臆せず提案してまいります。